

# 目次

[概要](#)

[問題](#)

[ステップを解決して下さい](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

## 概要

この資料に Cisco Unity Connection に勧誘を転送しない Cisco T1 IP メディア ゲートウェイ (TIMG) を解決する方法を記述されています。これはコールが音声メールに接続されないことを意味します。この資料は問題を解決するのに TIMG で必要とされるトレースを記述したものです。それはまたトレースで出会うかもしれません提供し、問題にソリューションを提供しますものの例を。

## 問題

構内交換機 (PBX) 電話は TIMG によって Cisco Unity Connection 音声メール サービスにリンクされます。チャンネル連携信号 (CAS) T1 行は TIMG に PBX を接続するために使用されます。シリアル RS-232 ケーブルはシリアル データを伝送するために使用されます (たとえば、呼出す、呼出された、コール転送原因、等)。コールの物理的な部分は CAS T1C を渡ってあります。

この場合、PBX はメッセージ センター インターフェイス (MCI) によってシリアルリンク上のコール データと通信します。それはまた簡易メッセージ デスク インターフェイス (SMDI) が MD-110 と通信できます。

ユーザが PBX 電話からコールを作るとき、Cisco Unity Connection 音声メール サーバに転送する必要があります。その代り、リングは続きと、Unity 接続音声メールは答えません。

## ステップを解決して下さい

次に問題を更に解決し、TIMG のトレースを有効にし、テスト コールをし、トレースを検討するため。

1. TIMG で、行き、> **トレース/ロギング**は Admin インターフェイスに『Diagnostics』を選択します。
2. トレースの側で、『Configure』をクリックして下さい。Cisco はこれらのトレースをつけることを推奨します:

Tel - Prot およびイベントをチェックして下さいVoip - Prot をチェックして下さいSi -すべて  
SiIP -すべて

3. [Submit] をクリックします。

4. トレースの側で、コールは音声メールに転送する必要があることを期待すること十分な時間が渡った後テスト コールを『Start』 をクリックし、作って下さい。
5. [Stop] をクリックします。
6. トレースファイルを得るために『Download』 をクリックして下さい。

トレースファイルはこのリストへの類似したを表示する:

これらの行を検知して下さい:

最初の行は PBX からの未加工のデータです。 次の行は TIMG のためのより使用可能な形式に未加工のデータを変換します。 これはデータが PBX からのシリアルケーブルに出くわすことを確認します。

トレースのこの行を見つけて下さい:

Session Initiation Protocol ( SIP ) が誘う Cisco Unity Connection に生成されていないことに注意して下さい。 警告メッセージはコールがシリアル データと合うために T1 CAS からの TIMG に入っていないことを示します。 両方なしで、TIMG は Cisco Unity Connection にコールのために電話が絶えず鳴ります SIP を誘います生成しません。

## 解決策

この問題の可能性が高い原因は CAS T1 とあります。 場合によっては、TIMG のシグナリングは PBX のそれを一致する。 T1 のための PBX 設定は TIMG の設定と比較する必要があります。

TIMG で > TDM > T1/E1 『Configuration』 を選択して下さい。 ライン設定、T1 ラインおよび T1 CAS プロトコルの下で Settings チェックボックスをチェックして下さい。

## 関連情報

- [SMDI、MCI または MD-110 のための Unity 接続 TIMG ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)